

《日本コミュニティ心理学会研究委員会企画 第一回研究法ワークショップ》

テキストマイニングの基本原理と実践

開催日時： 2月27日（土）15:00～18:00（講演60分、実習120分）

場所： 立教大学 池袋キャンパス 12号館・第三・四会議室（地下1F）

講師： 岡本 卓也 先生（信州大学）

概要：

近年、無料で使える分析ソフトや解説書の充実化などを背景にテキストマイニングを行う環境が整ってきている。コミュニティ心理学の領域でも、インタビューデータや質問紙による自由記述データなどをもとにした研究は多いが、計量的な観点からの分析を行っているものはそれほど多くはない。本ワークショップでは、テキストマイニングの基本的な考え方や原理、各種ソフトの特徴を概説した上で、フリーのテキストマイニングソフト（TTM及びHAD）を用いた実習を行う。また、事前に、質問や扱って欲しいデータなどを岡本まで送っていただければ、それらについてもワークショップ内で取り上げていく。参加を希望される方は、TTM及びHADをダウンロードしたPCをご持参ください。TTM（<http://mtmr.jp/ttm/>）、HAD（<http://norimune.net/had/>）。

略歴・専門：

信州大学人文学部 准教授。博士(社会学)。関西学院大学社会学部助教、准教授を経て現職。2010年日本コミュニティ心理学会 若手学会員研究・実践奨励賞、2012年日本行動計量学会 肥田野直・水野欽司賞受賞。専門は、社会心理学。集団所属の心理過程、移動に伴う心理変化などについて研究している。近年は、居住地域への愛着やコミュニティ意識、場所の魅力、観光行動をキーワードに研究をしている。また写真を用いた調査法（写真投影法）の開発についても取り組んでいる。主著に「集団関係の測定に関する社会心理学（関西学院大学出版会）」「コミュニティの社会心理学（ナカニシヤ出版）」「テキスト分析のためにデータを洗練する」（藤井他編『心理・福祉・看護のためのテキストマイニング入門』中央法規出版）など。

参加について： 学会員であればどなたでも参加できます（参加無料）。申込みを希望される方は、研究委員会（jscp.kenkyu@gmail.com）までご一報ください。
参加定員は30名を予定しています。

会場：立教大学池袋キャンパス 12号館・第三・四会議室（地下1F）

※下記キャンパスマップ参照。大学の中程に位置する新しいレンガ色の建物が12号館です。大学の正門を左側に見ながら、しばらく進んだところに守衛門があります。その門を入ったすぐ右手が12号館です。入り口に守衛室、1階に事務室・教員ラウンジ等があり、2階から上は研究棟になっています。玄関を入れてすぐ左の階段を降りたところに会議室（第一～第四）が並んでいます。

キャンパスマップ：<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>